

# 美幌町地域公共交通活性化協議会における地域公共交通確保維持改善事業の概要

## 事業実施の目的・必要性

美幌町は、北海道東部のオホーツク圏に位置し、恵まれた自然資源と交通結節点の立地条件に優れた地域特性に支えられているが、近年の人口の減少や高齢化、運転手不足が進む中、住民の足の確保が難しくなっており、バス運行の要望が増えている状況にある。今後も、高齢者等の交通弱者が利用しやすい公共交通の効率的運行が重要となるが、公共交通を維持するための費用負担が年々増加しており、財源確保が課題となっている。

町内を運行する地域間幹線系統と地域内フィーダー系統バス路線は美幌駅前バスターミナルを中心に接続しており、市街地の生活圏域を回る市内循環線及び郊外部全体を網羅する乗合タクシー、令和4年4月から運行している申込バス「もーびー」等、持続可能な公共交通の確保・維持に向けて、利用状況などを検証しながら効果的な公共交通（デマンド型・路線型）の枠組みや生活交通ネットワークの構築に向けて検討を行い地域も足の確保を図っている。

## 生活交通確保維持改善計画の目標

利用者のニーズや利用状況を踏まえ、公共交通の利便性の更なる向上を目指し、令和6年度の目標数値を設定した。

<目標>

- ・市街地バス路線（美幌駅循環線・美幌駅旭小学校線・登下校線）の年間輸送人員22,000人以上
- ・地域内フィーダー系統路線合計の経常費用に対する運賃収入の割合が13%以上（申込バス「もーびー」を含めた運賃収入割合15%以上）
- ・運転免許証自主返納者のタクシーを除く公共交通利用率12%

## 令和6年度事業概要

### 【乗合型バス】

- ・美幌駅循環線 美幌駅前～美幌町役場～美幌高校
- ・美幌駅旭小学校線 旭小学校～美幌町役場～美幌駅前
- ・登下校線（南回り） 美幌駅前～美幌町役場～美幌高校
- ・登下校線（北回り） 美幌駅前～青葉～美幌高校
- ・美幌高校線（通年） 美幌療育病院～美幌～美幌高校

○運賃 上記全ての路線 150円/1乗車

### 【デマンド型】

#### 乗合タクシー

- ・豊岡方面 豊岡 ～ 豊岡方面 ～ JAびほろ
- ・栄森方面 栄森 ～ 栄森方面 ～ 美幌駅
- ・豊幌登栄方面 登栄 ～ 豊幌登栄方面 ～ 美幌駅
- ・古梅方面 古梅 ～ 古梅方面 ～ 美幌駅
- ・日並都橋方面 日並 ～ 日並都橋方面 ～ 美幌駅
- ・報徳田中方面 田中 ～ 報徳田中方面 ～ 美幌駅

○運賃 500円/1乗車

## 地域公共交通の現況

- ・北海道旅客鉄道(株) JR石北本線（美幌駅）
- ・北海道北見バス(株) 津別線（北見～美幌～津別）  
療育病院線（北見～美幌）  
美幌高校線  
（美幌療育病院～美幌～美幌高校）
- ・阿寒バス(株) 美幌駅循環線  
美幌駅旭小学校線  
登下校線（南回り・北回り）
- ・美幌北海道交通ハイヤー(株) 乗合タクシー町内6方面  
申込バス「もーびー」
- ・混乗スクールバス 町内8路線

## 協議会開催状況

- ・令和6年6月24日 第1回協議会開催  
令和7年度地域内フィーダー系統確保維持計画
- ・令和6年11月15日 第2回協議会開催（書面）  
地域内フィーダー系統確保維持計画の変更について
- ・令和6年12月11日 第3回協議会開催（書面）  
令和6年度地域公共交通確保維持改善事業・事業評価

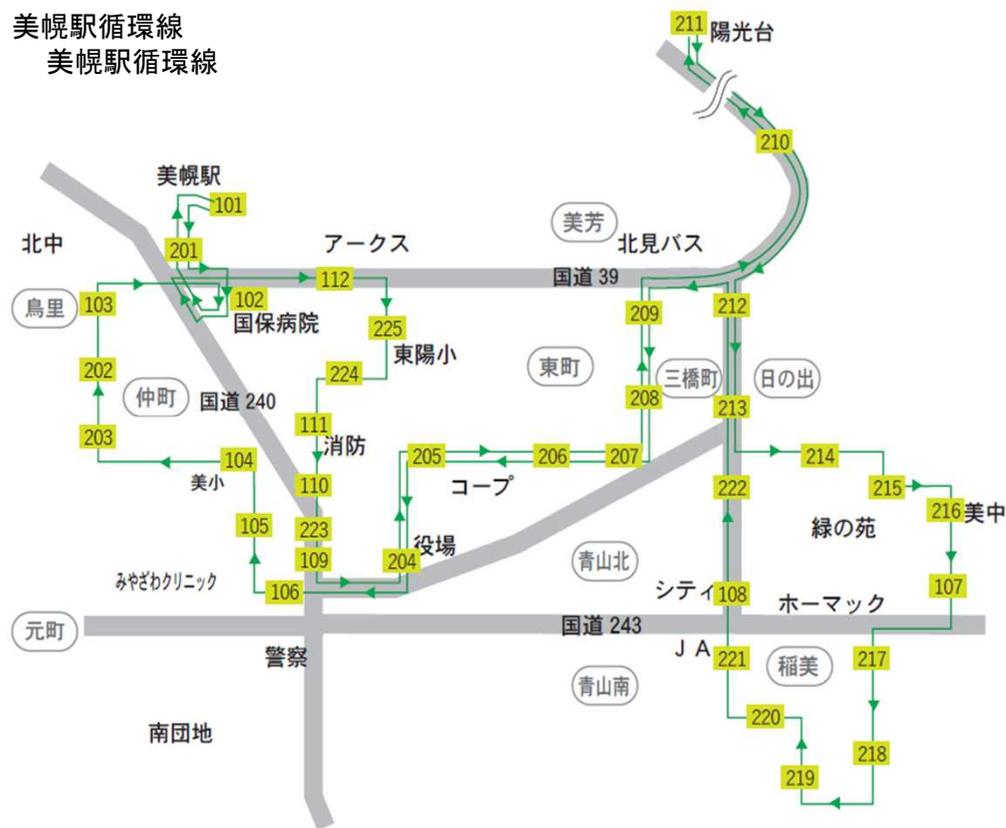
# 令和6年度事業の実施状況

## 1) プロセス、創意工夫

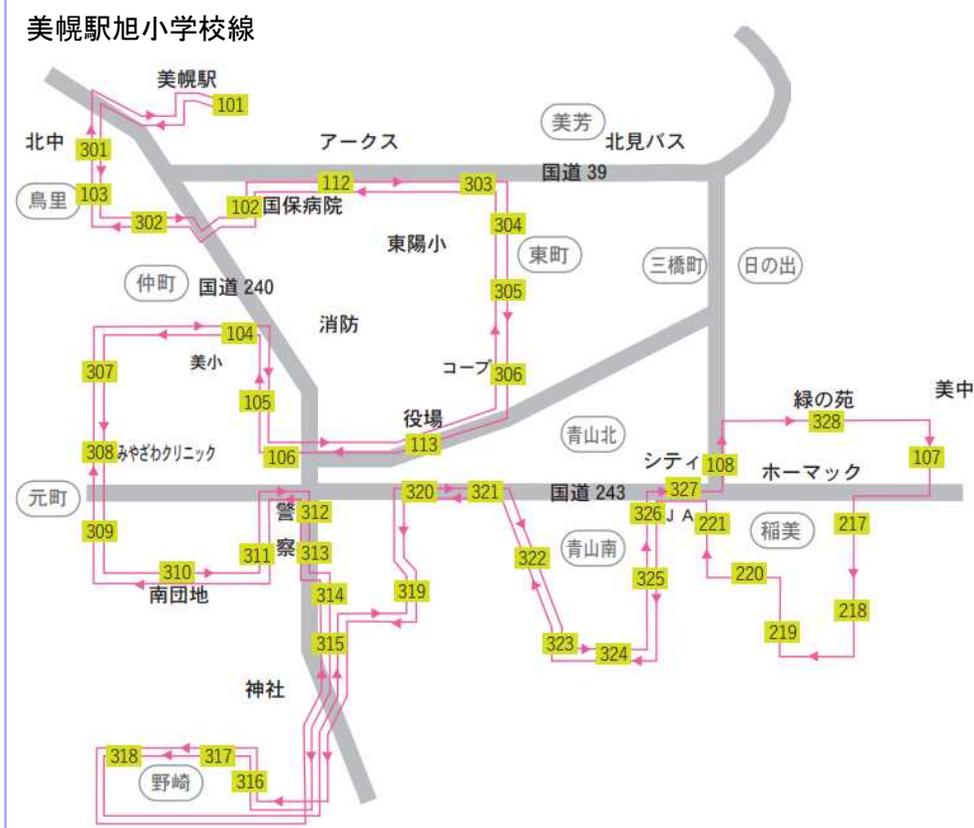
- ・市街地のバス路線について、美幌町地域公共交通計画に基づき路線を見直し、これまでに令和4年4月11日から新路線、ダイヤにより運行を開始し、更なる利便性向上を図るため、同年12月に路線・ダイヤの見直し、さらに令和6年5月1日から利用者の少ない路線バスの便について見直しし、効率的な運行を図った。
- ・デマンド型バス、申込バス「もーびー」の停留所を増設し、利用者の利便性向上を図った。
- ・美幌高校線は、通学の利便性を高めるため、令和4年12月に路線延長を実施し、これまでバス通学が困難だった高校生の足の確保を行った。
- ・乗合タクシーは、利用者のニーズを把握して利便性の向上に努めているが、運行区域の人口減少に伴い、利用者が減少に歯止めがかからない状況。

## 2) 運行系統

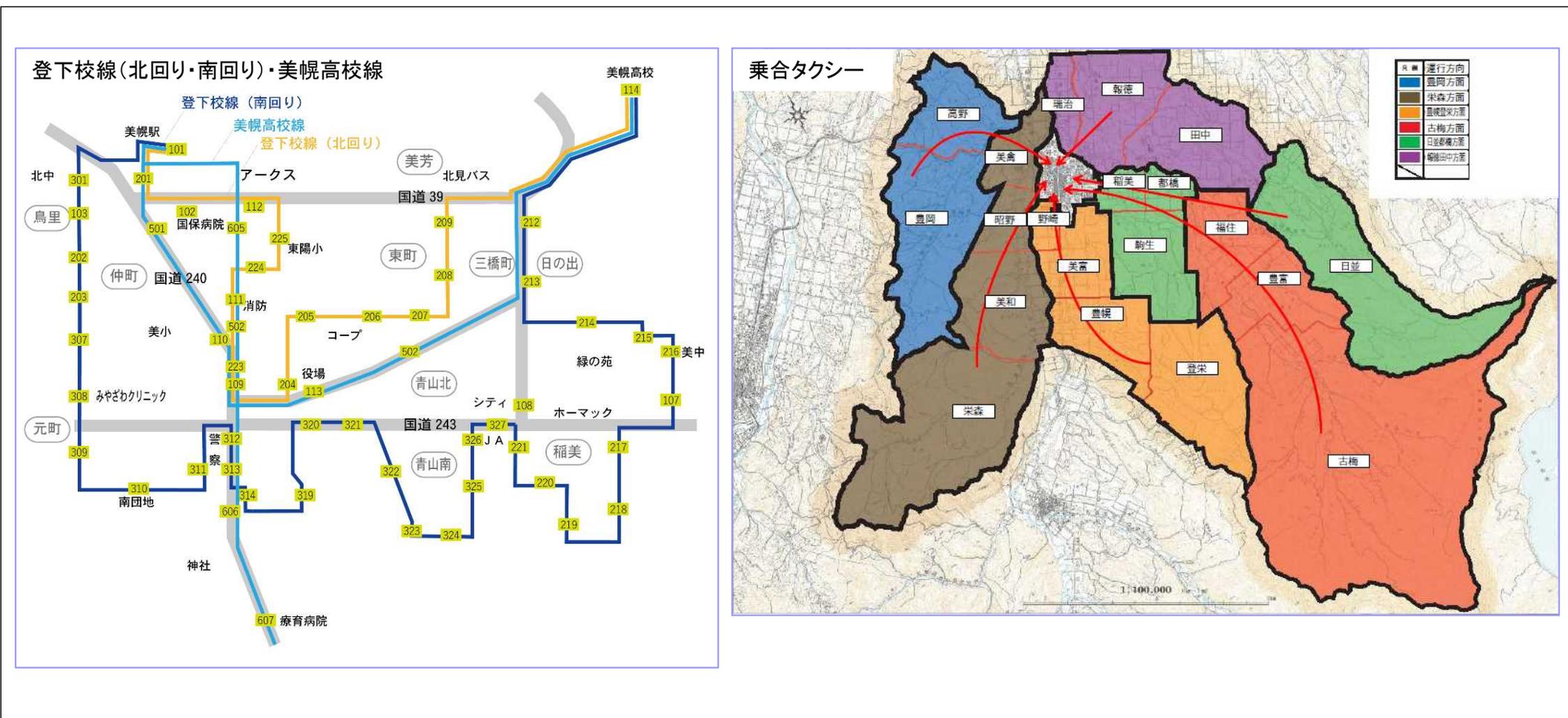
美幌駅循環線  
美幌駅循環線



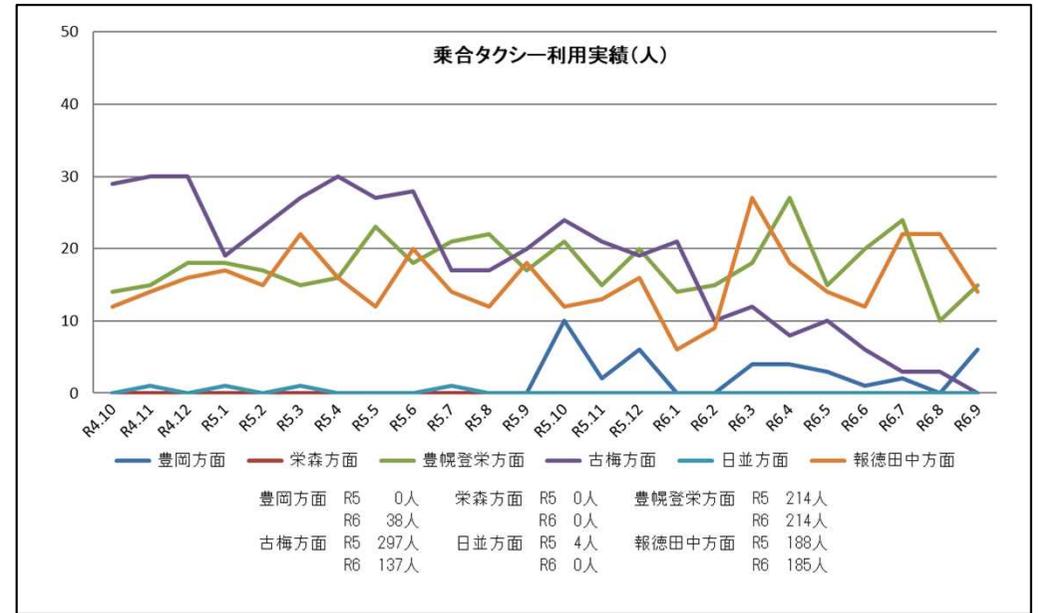
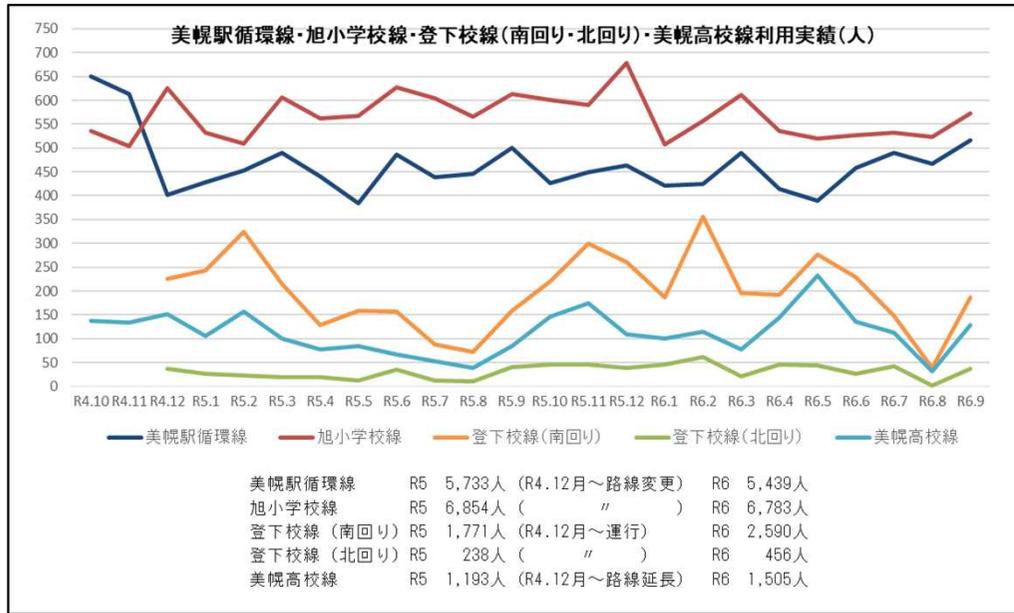
美幌駅旭小学校線



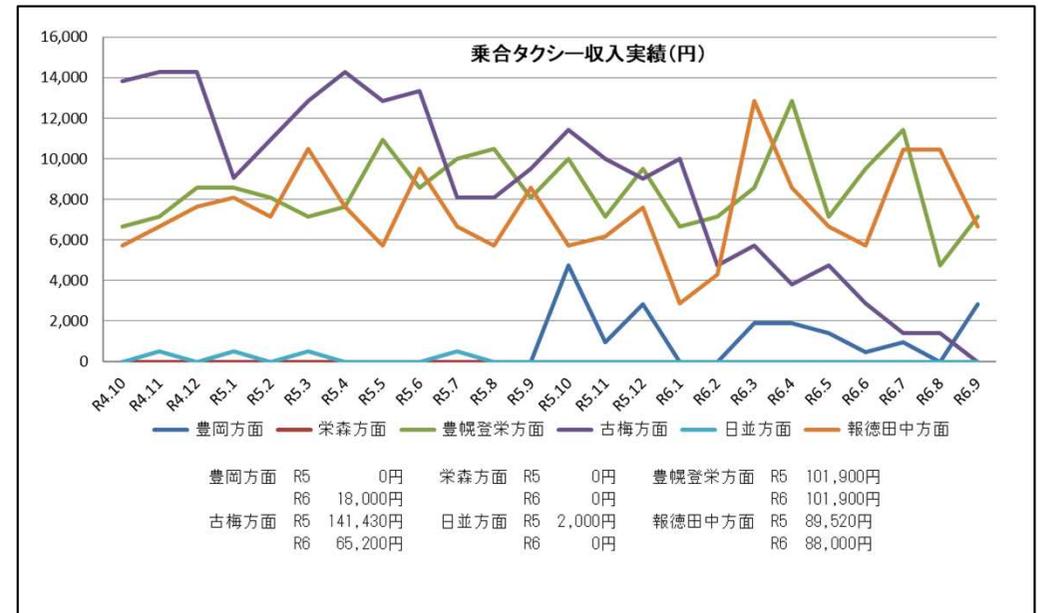
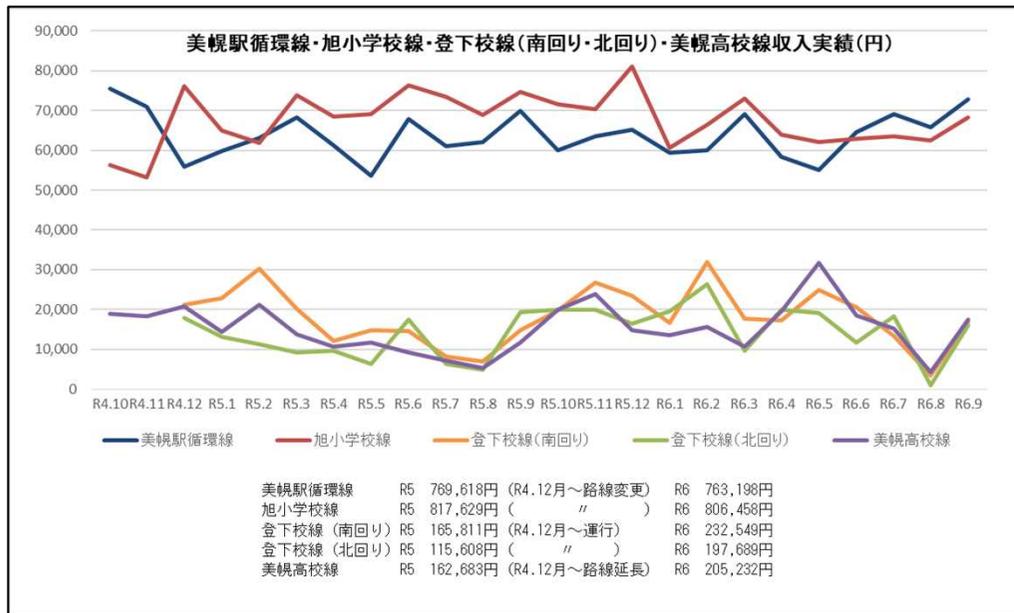
## 2) 運行系統



### 3) 利用実績



### 4) 収入実績



## 5) 事業実施の適切性

町内路線バスについては、悪天候による運休はあったものの、計画どおりに運行され、乗合タクシーについては、全体的に見て計画運行回数を下回り、利用のない地域もあったが、市街地や農村地区に居住する町民、特に高齢者等の交通弱者の生活の足として重要な移動手段となったことから適切な運行ができています。今後も、人口減少により利用者数が減少しているが、確保維持しなければならないものであり、事業は適切である。

## 6) 目標・効果達成状況

・市街地路線バス（美幌駅循環線・美幌駅旭小学校線・登下校線（北回り・南回り）・美幌高校線）の輸送人員の目標22,000人/年に対し、16,718人/年と目標を下回り、目標達成率は76%となったが、前年比929人の増加となった。また、補助対象路線とはなっていないものの、デマンド型バスの申込バス「もーびー」については、輸送人員5,305人/年となり前年比641人の増加となった。

・地域内フィーダー系統（路線バス5路線及び乗合タクシー）について、経常費用に対する収入割合の目標値を13%ととしていたが、11.71%となり、前年度より0.6ポイント増となった。

・乗合タクシーは、574人/年の輸送人員となり、前年比129人の減少となった。人口減少に伴い、農村地区の人口も減少していることから全体的に利用者が減少しており、2方面（栄森・日並）で利用がなかったが、前年度利用がなかった豊岡方面については、利用者が増えており、混乗スクールバスとあわせ、農村地区の住民の足が確保された。

・運転免許自主返納等事業による共通助成券の利用率について、市街地路線バス及びもーびーでの利用率の目標値12%としていたが、R5.4月～R6.3月の利用率が8.8%となった。

## 7) 事業の今後の改善点

・市街地路線バスについては、R4.4月の大幅な見直し以降も利便性の向上と効率的な運行を図るため、随時見直しを行ってきており、住民の定着が図られ、利用者数の増加がみられることから、現路線を維持し、住民への周知によりさらなる定着を図る。

デマンドバスとの役割分担も図りつつ、町全体の利用者のニーズに寄り添えるよう検討を行い、利用促進を図る。

・町内の美幌高校の生徒数がR6年度は若干の増加になり、美幌高校線・登下校線の利用者数の増加がみられたことから、今後においても高校生へ向けた利用促進策を検討し、利用促進に努めたい。

・乗合タクシーは、農村地区の利用者のニーズを把握し、現行事業を基本とした中で、運行時刻の見直し等を行い、利用促進を図る。

## 8) 地方運輸局等における二次評価結果

（令和7年度分と併せて評価）